

J R 総連通信

レールウェイはヒューマンウェイ

参議院議員 田城 郁



2012年1月13日 No.1033

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

激動の年・「労働者の生活が第一」

J R 総連 2012 年旗開き・新春の集い

J R 総連は 1 月 10 日、目黒雅叙園で「2012 年旗開き」「新春の集い」を開催した。「旗開き」では、武井委員長、および田城郁参議院議員から年頭所感と、鎌田書記長から基調が述べられ、作家・佐藤優氏より国際情勢や J R 総連に期待するといった講演。単組・労連を代表して J R 東労組・柳原周治郎中央執行副委員長、美世志会・上原潤一代表、「嶋田一味作成『でっち上げリスト』・スパイ糾弾訴訟」原告団・石川尚吾団長から年頭決意が述べられた。

また、続く「新春の集い」は、国会議員、労組や支援団体など約 350 名の参加で、2012 年の闘う方向性を共有した。

武井委員長 年頭所感



<2012 年は世界的に「激動の年」！>

元旦の新聞各社『社説』は、「激動の年」「歴史の転換期」「世界的『危機』の常態化」で「国内外政治の問題解決能力

が問われる年」と表現。財政・経済危機が世界を席卷。各国首脳選挙も実施される。日本で解散・総選挙がいつ行われようとも「組合員の生活第一」で闘いを創造する。

<大震災の復興と、脱原発運動の前進>

「3.11」から約 10 ヶ月が経った。未曾有の事態は、あまりにも残酷。原発事故は、未だ収束せず、未来を奪っている。命と環境を守り、社会を創造し、「脱原発」の運動の前進。全組織での復興支援は、ヒューマンズムに溢れていた。田城郁参議院議員も直後から、状況把握や貨物輸送ルートを確認し活躍。組織の誇りだ。しかし「原子力協定承認案」が可決・成立した。「原発の輸出」は言語道断だ。田城議員は棄権した一人だ。野田首相の冷温停止状態「終息宣言」には批判が続出。避難先で新年を迎えた被災者を忘れない。収束宣言はナンセンスの極みだ。連合の一部主要産別や関西経済連合が「原発の早期再稼働」を政府に要望した。各界からの脱原発運動の抹殺に、危機感を高めねばならない。

<増税路線は「公約違反」>

政府・与党は消費税率の 2 段階 10%引き上げを決めた。民主党のマニフェスト違反は認めない。行政の無駄の削減、八ッ場ダムの事業再開も疑問を呈す。今年「解散・総選挙」の可能性が十分考えられる。

<TPP（環太平洋連携協定）推進は「日本文化崩壊」の危機>

野田首相は TPP 交渉へ参加の方針。本質は、米大資本主導のグローバル化「第 2 弾」だ。「自由貿易」「開国」に騙されてはならない。農林漁業のみならず、幅広い分野に影響を及ぼし、安全な食文化や自然環境、そして日本の良き伝統や社会構造が崩壊する危険性ははらんでいる。

<「武器輸出三原則」の見直しは、軍需産業の拡大を意図>

「衆議院・憲法審査会」初会合、参議院でも開かれた。唐突感は認めない。武器技術の開発と軍事産業拡大は「死の商人」への回帰に他ならない。論点は第 9 条。警戒感を持ち注視する。

<反弹圧の闘い>

「えん罪・J R 浦和電車区事件」は正念場。最高裁「要請行動」は 210 回を超え、注目されている。不退転の決意で奮闘を。「えん罪撲滅」と「公正な裁判」を求め、「取調べの全面可視化」と、「証拠の全面開示」の実現をめざそう。国会での「革マルキャンペーン」は、一昨年からも展開されてきた。真相を解明しなければならない。そのとき示された CD-ROM は「盗聴」の疑いも高く、国会議員としての「軽率な行動」の詫りを免れない。対応を検討する。

仮釈放の鈴木宗男さんは、「弱い立場の人は、政治を必要としている」「私はえん罪で闘っている人たちと共に闘う」とも強調している。

<J R 東日本での不当労働行為と職場活動規制攻撃・山積する政策課題>

J R 東日本で某現場長が、労使関係を無視し「暴言」。施設管理権を振りかざした行為は、労働協約違反であり、「不当労働行為」だ。J R 東労組と連帯し闘う。

J R 三島・貨物の税制特例措置の延長と、来年度概算要求と税制改正、改正労働者派遣法案の実現、グリースタッフの正社員化、交通基本法案の実現、安全確保と安全で働きやすい職場づくり、整備新幹線の着工と並行在来線の存続問題、リニア中央新幹線等、政策課題が山積している。

<課題山積・初志貫徹で！>

J R 総連議員懇談会総会には 47 名の国会議員や小沢一郎・民主党元代表も参加。期待が寄せられた。通常国会では各法案が検討されるが、「官僚主導から政治主導へ」「国民生活第一」の実現は困難を余儀なくされている。「税と社会保障改革」などの課題も山積している。

J R 総連は、「労働者の生活第一」という初志貫徹の気概で奮闘を！ 安全で働きがいのある職場の実現！ 人権・平和・民主主義の確立！ 公正・公平な社会の実現を自らの手で切り開こう！ お互いに奮闘することを誓い合おう！